Rotary International District 2570

Governor's Monthly Letter

No.5 1st November 2010

地域を育み、大陸をつなぐ

11月はロータリー財団月間です。

ガバナー月信
2010年11月1日
第5号

奉仕の できる喜び

ロータリー財団部門委員長　小池　貞作

■ガバナーメッセージ

お互いの成長を喜びあえる心を

ガバナー　西川　武重郎

今月はロータリー財団月間です。地区財団部門のオーソリティ小池貞作財団部門委員長が表紙を飾っています。

財団の使命をインターネットから引用して振り返ってみましょう。「ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。当財団は非営利財団で、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。」(URL 1)

そして、補助金は6項目の重点分野に分配されています。その重点分野とは、1)平和と紛争予防／紛争解決　2)疾病予防と治療　3)水と衛生設備　4)母子の健康　5)基本的教育と識字率向上　6)経済と地域社会の発展、です。　(URL 2)

写真左から、安倍昭恵元首相夫人、一人とんで、フラ・ミン駐日ミャンマー大使、今泉パストガバナー、西川ガバナー

(URL 1)　http://www.rotary.org/ja/aboutus/therotaryfoundation/pages/ridefault.aspx

(URL 2)　http://www.rotary.org/ja/Members/RunningADistrict/FutureVisionPilotProgram/Pages/AreasofFocus.aspx

人間とは不思議なもので、自分が稼いだお金を自分のために使うのは喜びとなりますが、他人のために使うとなると抵抗を感じます。これは人間の性(さが)なのでしょうか。財団や米山の話をすると「金集め」といった印象を持つロータリアンがいるようです。しかし、財団奨学生のカウンセラーをした人から、「子どもたちが人間として大きく成長し、帰国した時の姿を見る時ぐらい、嬉しいことはない」という話をよく聞きます。これは他者のためにお金を使う喜びと言えるでしょう。

こうした喜びをもっと皆さんに伝えていく活動を充実させ、皆さんに寄付の意義と喜びを広く知って頂くことも、今後の課題だと思っています。

RI会長、レイ・クリンギンスミス氏は、ご自身の体験を通し、子どもたちが人種を越え、国境を越えて人と人との絆を広めていくことが、世界の平和の礎になっている。だからロータリーが行っている青少年育成事業が大切なのだと話されました。福沢諭吉の「国に頼らず、国に尽くす」ではありませんが、「尽くす」ことが大切だとも思います。

私たちは、このRI会長や福沢諭吉の言葉をしっかりと受け止め、誇りと、喜びと、使命感を持って、心からの寄付ができる財団月間にしたいものです。

そして、私の年度の地区テーマ「利他の心で行動しよう」をもう一度、公式訪問を通じて皆さんと一緒に噛み締めてみたいと思います。

奉仕のできる喜び

ロータリー財団部門委員長　**小池　貞作**（寄居）

本年度の財団月間を迎えるに当たり、平素の財団部門に対するご支援に心から感謝を申し上げます。

ステンハマー R財団管理委員長は、次年度の財団目標について、重点を置くべき主な目標を４つ提示されました。

・ポリオ・プラスプログラム。
・未来の夢計画の試験段階の実施。
・「毎年あなたも100ドルを」を通じた年次寄付金の立て直し。
・将来プログラムを維持していくための「恒久基金」の発展です。

国際ロータリー、ロータリー財団、RI会長そして財団管理委員長が揃って、ポリオ撲滅を第一の目標に掲げており、このプログラムへの強いメッセージであります。未来の夢計画は世界の100のパイロット地区でスタートを切りました。2013～2014年度からは全ての地区でスタートします。そして、世界のロータリアン年次寄付の平均は80ドル強です「毎年あなたも100ドルを」と継続的な「恒久基金」の大切さを強調し、世界中で奉仕の実践を強く訴えております。

地区財団目標について

地区財団目標については、機会を通してお話させて頂きましたので以下要約致します。

財団推進補助金委員会関係

・年間200ドルの寄付目標（年次130ドル・チャレンジ50ドル・恒久20ドル）
・地区補助金総額20,000ドル（10～13件）
　地区補助金を使って人道的補助金プログラムを実践
　…財団に参加し理解

財団奨学学友委員会（フェロー担当）

・国際親善奨学生を４～5名採用し、研修・派遣
・平和フェロー 1名派遣中
・学友や奨学候補生によるクラブ卓話
　教育的プログラムの実践理解

GSE委員会

・2010～2011年度GSE年度
・オーストラリア　第9630地区
・派遣受入期間　2011・３～４月
・団員：団長１名、団員４名
・団員の研修
　教育的プログラムのGSEの受入れや派遣にご協力を頂きます。

ロータリー財団は、会員皆様の温かい継続的なご支援がなければ、「健康状態の改善・教育への支援を高め・貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成する」という財団の使命は達成できません。

奉仕のできる喜び・誇り・自信！

ロータリー財団は安定回復状況へ

ロータリー財団推進・補助金委員会委員長　**柴崎　典一**（深谷）

ロータリー財団への寄付金は、当地区の会員一人一人の善意によって、近年350,000ドルを上回る成果を残してきました。一昨年のリーマンショック以来、世界的不況の中でロータリー財団の危機が取り沙汰されましたが、徐々に安定化を増しながら、回復状況にあるようです。

本年度も昨年度同様に、皆様方の温かい善意をお願い致します。地区補助金は、3年前に皆様から寄せられた年次寄付金が地区に還元され、クラブの奉仕活動に利用できるものです。利用目的は「人道的プログラム」か「環境保全プログラム」に限られますので、プログラムの立案にあたっては、是非ともご相談下さい。

奨学生は2570地区と諸外国との懸け橋

ロータリー財団奨学学友委員会委員長　**松本　光司**（坂戸さつき）

ロータリー財団は国際間の理解と親善友好に向けて国際親善奨学金PGを提供しています。2570地区はこれまでに135名の奨学生を海外へ派遣し、国際理解を深めています。2011～2012年度派遣予定の国際親善奨学候補生は、工藤聖彦さん（入間RC）、田邉 信さん（和光RC）、望月里紗さん（狭山RC）の３名です。帰国後の奨学生は2570地区と諸外国との懸け橋となり、留学先での交流を、学友会ニュース、財団月間、セミナー等での卓話などにより報告をしております。また選考、オリエンテーション、奨学生対応等、幅広く活動をしており、2570地区Ｒ財団学友会の特徴でもあります。

奨学学友委員会はこのような機会を通して、国際親善奨学生が生涯を通してロータリーと関係を持ち続ける事を目標としております。

Ｒ財団月間に因み、財団へのご理解とご協力をお願い致します。

去る9月6日（土）には、北坂戸「オルモ」にて、2011～2012年度に派遣する国際親善奨学候補生の第１回オリエンテーションが行われました（写真右）。

西川ガバナーより年度テーマの「地域を育み大陸をつなぐ」の解説のあと、小池部門委員長、藤村学友会会長からお話がありました。

ガイダンスでは、自己紹介のヒント、スピーチ技術、ロータリー基礎用語解説などが行われました。

R・I長期計画セミナー

米山奨学部門委員長　**大澤　衞**（和光）

9月5日（日）、宮城県仙台市「学校法人菅原学園」に於いて開催された「第1ゾーン(※1)主催のセミナー」に参加してまいりました。講師に黒田正宏・近藤雅臣、両R.I理事を迎え、第1ゾーンのロータリー・コーディネーター（R・C）(※2)プログラムとR.I長期計画についての勉強会です。当地区からは、井花富男、茂木正、野口健吉そして大澤衞の4名の部門委員長が参加しました。

全体会

●R.I長期計画について（基調講演）

黒田　正宏R.I理事（第2830地区、八戸南RC）

2001～2002年度、国際ロータリーは組織を導く長期の立案を始め、2009年には長期計画の大幅な見直しを行いました。これには、組織としてロータリーが優先すべき事柄について、アンケート調査、座談会式調査、その他のデータ分析や研究調査が行われ、これらの調査結果を元に、国際ロータリーとロータリー財団が進むべき進路が一致するように長期計画が改正され、2010年7月1日より有効となりました。

使　命

私たちは、他者に奉仕し高潔性を推進し事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解・親善・平和を推進する。

ビジョン

私たちは、世界中の地域社会における人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブからなり、人々から選ばれる奉仕組織である。

- 優先項目（分科会報告参照）
- クラブのサポートと強化。
- 人道的奉仕の重点化と増強。
- 公共イメージと認知度の向上。

左から、野口　健吉、大澤　衞、井花　富男、茂木　正

分科会

●クラブのサポートと強化

講師：桑原　茂R・C（第2520地区、塩釜RC）

クラブ奉仕部門委員長　**井花　富男**（新狭山RC）

ロータリーの最大の財産は会員で、優秀な人材無くして奉仕活動はできません。会員減少は経済環境、高齢化等もありますが、拡大、増強を急ぎ、情報教育が欠如し、ロータリーの理念や魅力を正しく伝えることができなくなったり、また会員の規範の低下にあるのではないかと思います。過去５年間、第１ゾーンの入会者10,060名、退会者12,188名で2,128名減。ロータリーは錆びたバケツになってきています。正しいロータリー情報を知らず退会した人はロータリーに良い印象を持ちません。この事は他の方の入会を妨げることにもなります。退会者防止のために「クラブの器」を整える必要があります。例えば新入会員のオリエンテーションの実施や研修、推薦者や情報委員のフォロー、その人に適した役割や仕事の分担の考慮等々が肝要です。年齢構成も60～70歳代が一番多く、次の代へのバトンタッチが難しくなります。会員増強は「下手な鉄砲云々」の手法ではだめです。長期計画を立て、職業分類表等を駆使し、有為な人材確保を優先すべきです。クラブの能力を高めるために「クラブの器」を磨きましょう。バッジに誇りが持てますように。

●人道的奉仕の重点化と増加

講師：北　清治R・C（第2770地区、浦和東RC）

新世代奉仕部門委員長　**野口　健吉**（東松山むさしRC）

新世代部門について、第１ゾーン14地区の方々から問題点が多く発表され、青少年交換留学生の応募の減少、スポンサークラブ、ホームステイ先の確保など、苦慮している現状が発表されました。

インター・アクト、ローターアクトの活動の低迷、会員減少、更に、ライラ委員会については活動を休止している地区が多かったのには驚きました。

新世代部門が本年度から第五番目の奉仕部門になりましたが、各地区共通の問題を抱えていることを痛感、今後どのように委員会として取り組んでいけば良いのか考えさせられたセミナーでした。

今年度から、毎年このゾーン会議が開催されるとのことですが、他地区の部門別交流の時間を増して頂き情報交換等ができれば、より有意義なセミナーになるのではと考えながら帰路につきました。

●『公共イメージ』浸透へのプロジェクト

講師：坂本　俊雄R・C（第2750地区、八王子南RC）

国際奉仕部門委員長　**茂木　正**（本庄RC）

ロータリークラブは“人類のために活動しています”。しかし特にドイツや日本では、ロータリークラブの活動に対する認識が低いので、マスコミ等を利用して一般にアピールする広報が、会員の増加につながっていくと思います。そのためには、人の心を豊かにしたり、和ませたりするようなニュースソースを積極的に提供する必要があるでしょう。

とはいえ、広報とは結局私たちの行動への評価ですから、実際に我々がイメージアップのための地域活動を展開することが求められます。そのポイントは、以下の三つです。

1. 報いを求めず
   ロータリーの活動が外から見えるよう、行政や他団体と連携する。
2. 調和を図る
   地域活動を自分磨きの道場としてとらえ、率先してニーズに応える。
3. 知り合い、深める
   世の中がさらに良くなることを善とし、社会からの還元を求めない。

※1：ゾーンとは、日本国内のロータリークラブを3つの区域に分けているもので、第1ゾーンは以下の14地区。

北海道（東部 2500）	北海道（西部 2510）	青森県（2830）
秋田県（2540）	岩手・宮城県（2520）	山形県（2800）
福島県（2530）	新潟県（2560）	群馬県（2840）
栃木県（2550）	茨城県（2820）	千葉県（2790）
埼玉県（南東部 2770）	埼玉県（西北部 2570）	

※2：ロータリー・コーディネーター（R・C）は今年の7月から導入された制度で、R.Iの様々なプログラムの推進に当たり、任期は３年です。世界で41人のR・Cが、青少年プログラムや親睦活動、ロータリー行動グループについてガイダンスを提供します。第1ゾーンのR・Cは、桑原 茂氏（第2520地区、塩釜RC）です。

米山研修旅行を終えて

米山奨学学友委員長　**竹間　暎**(東松山)

９月 11 日（土）静岡県長泉町・米山記念館前にて

9月11日･12日、米山学生11名、金子PGを含む41名にて伊豆方面に研修旅行を実施しました。初日は最初に米山梅吉記念館を訪れ、米山先生の偉業を偲びました。その後、先生のお墓参りをさせて頂き、参加者全員感動致しました。

堂ヶ島温泉ホテルに一泊し、お互いに意見交換をして、大いに交流を深めることができました。今後の発展が楽しみです。

二日目も伊豆名所を見学し、帰路のバスの中で金子PG主催による句会の発表があり、学生諸君の力作を褒められました。ちなみに私の句がロータリアンの最優秀作に選出され、驚きとともに嬉しく思いました。

諮問委員会開催

2570地区幹事　**大野　栄治**(志木)

９月29日（水）、東松山紫雲閣にて、第二回諮問委員会が開催されました。

諮問事項は以下の通りで、活発な意見交換が行われました。

1）RI 理事の指名委員会委員選出の件

2）次年度地区運営の件

3）2570 地区懇談会の件

4）その他

「トークイベント ミャンマーへの恩返し」に参加して

世界社会奉仕副委員長　**金子　幸男**(新座)

９月18日（土）にNPOメコン総合研究所主催で、今泉清詞パストガバナーと安倍昭恵氏（安倍元総理夫人）とのトークイベントが、JICA国際協力機構広尾センターで開催され、西川ガバナー、大野地区幹事が参加しました。

今泉PGは昭和18年から３年間ビルマで従軍し、多くの戦友が亡くなる中、無事帰国できたのはビルマの方々のおかげと考え、ミャンマーへの恩返しを決意、私財を投じてミャンマーから毎年20名の留学生を受け入れ、利害打算を超えて支援。「私の命のある限り支援を続けていきたい」と語り会場から万雷の拍手を受けました。

第１回R財団部門セミナー

ロータリー財団推進･補助金委員　**高野　邦夫**(志木)

８月21日に、内山俊夫推進･補助金副委員長の司会もと、第１回Ｒ財団部門セミナーが開催されました。西川ガバナーのご挨拶に続き、小池英輔担当アドバイザーよりロータリアンの善意の浄財が奨学生の派遣や様々な奉仕活動の支えとなること、そのために西川年度の目標達成に協力願いたい旨のご挨拶がありました。

セミナーはＲ財団部門の小池貞作部門委員長、柴崎典一推進･補助金委員長、松本光司奨学学友委員長、吉田靖夫GSE委員長がそれぞれ担当して進行しました。

ふじみ野ロータリークラブ

会長　原田　重康
幹事　柳井　博

9月1日、西川ガバナー、岡野ガバナー補佐が午前11時に来訪されました。

ガバナーより今後のクラブのあり方、特に当クラブで最も懸念される会員増強について指導を頂きました。また当クラブが毎年行なっております社会奉仕の一環として青少年武道大会について御相談致しました。会員の減少により予算が厳しい中どうしたら良いかアドバイスを頂きました。12時30分より例会が開催され、当日は第一週目の例会で米山奨学生の王さんの来訪があり、通常の委員会報告の他に、会員慶事、加藤会員によるロータリーの友の紹介が行われました。その後西川ガバナーより本年度のテーマである「利他の心で行動しよう」を中心に卓話を頂き例会が終了しました。例会終了後はクラブ協議会が執り行われ、各担当者から活発な意見・質問がなされました。例会開催頻度を月２回にしても良いか質問したところ、定款会則を変えれば良いが毎週行なうのが好ましいとのお答えでした。ふじみ野RCとしては全会員一丸となり増強に専念し新会員の発掘に努めたいと思います。

朝霞キャロットロータリークラブ

会長　小林紀英
幹事　陶山憲裕

9月6日（月）、ガバナー公式訪問に先立って、我がクラブの最大の事業である「黒目川花広場」の見学をお願いしました。113年ぶりの記録的猛暑にもめげず元気に咲き誇ったキバナコスモス畑に歓迎の横断幕を用意して、西川ガバナー、岡野ガバナー補佐をお迎えしました。会員から事業内容などの説明があり少人数のクラブでも、これだけの事業ができることに驚きを感じて頂きました。その後３年未満の会員を含めた懇談会、公式訪問例会、クラブ協議会とたくさんの御指導を頂戴しました。

羽生ロータリークラブ

会長　島村　武房
幹事　浜島　英仁

9月7日（火）に羽生市民プラザ内のロータリールームにて、西川ガバナー公式訪問が開催されました。午前10時30分より懇談会、12時30分より例会。「利他の心で行動しよう」というガバナーの方針を約30分間にわたり卓話を頂きました。

13時45分からのクラブ協議会では、各委員長の行動計画に対して西川ガバナーから温かいコメントを頂きました。

最後に澤田ガバナー補佐の講評と西川ガバナーからの総評を頂き、和やかな雰囲気の中終了しました。長時間にわたり本当にありがとうございました。

寄居ロータリークラブ

会長　鈴木　光則
幹事　柴崎　正

9月8日（水）午前１１時から私達の例会場である武蔵野銀行寄居支店にて西川ガバナーの公式訪問が行われました。

西川ガバナーは高柳ガバナー補佐とともに1時間ほど早く到着され、定時には会長幹事・次期会長幹事に入会３年未満の会員２名と小池地区委員が加わり、懇談会が行われました。

話題は44年目を向えた寄居ロータリーの歴史、この伝統に育まれた寄居クラブのアットホームな雰囲気、自然保護をめざす「サンショウウオの里」を経営する会員や「寄居町にトンボ公園を作る会」の会長などをメンバーに擁するエコロジー志向の話などで大変盛り上がりました。来週には新入会員１名が加わることも明るい話題になりました。

R.I.会長の「地域を育み、大陸をつなぐ」、並びに西川ガバナーご自身の「利他の心で行動しよう」二つのテーマについて、判り易い丁寧な解説を戴きました。

新座ロータリークラブ

会長　本木　英朗
幹事　神谷　億文

9月9日（木）午前11時より西川武重郎ガバナーをお迎えして公式訪問が開催されました。

まず、当クラブ選出の岡野元昭ガバナー補佐、大野栄治地区幹事、会長、幹事、3年未満の会員3名を交え有意義な懇談会を行い、12時より、会員とともに食事を頂きました。例会ではガバナーご高話、「利他の心で行動しよう」と力強くご挨拶を頂きました。

例会終了後記念撮影をして、ガバナーを囲み全員で茶話会を行ないました。地元出身のガバナーという事で、終始和やかなリラックスした雰囲気でとても楽しいひと時でした。

13時30分よりクラブ協議会を行い、各委員会報告に対し、ガバナー所感では一つひとつ丁寧にアドバイスを頂きました。ゲストの皆様並びに会員の皆様、最後までクラブ協議会にご参加頂き感謝申し上げます。

本庄南ロータリークラブ

会長　堀川　明
幹事　飯塚　能成

9月13日（月）５時半より会長、幹事、３年未満の会員との懇談があり、主に３年未満の会員との懇談や今年度の事業についての説明で終わりました。その後、７時から例会が始まり、会長挨拶、幹事報告の後、小松会員より９月26日（日）植栽の詳しい説明があり、西川ガバナーからは「利他の心で、行動しよう」と今年のテーマについてのお話しがありました。

クラブ協議会では各委員会より説明がありガバナーより講評を頂きました。特に社会奉仕は地域に根差した活動で、「植栽は小島西３号公園に行う」、「町おこしのため『蔵』マップを作成」等の発表では質疑応答があり、時間も午後９時半近くとなってしまい、ガバナーより御礼の挨拶の後、閉会となりました。西川ガバナーありがとうございました。

新所沢ロータリークラブ

会長　鹿島　敏男
幹事　江崎　浩史

9月14日(火)所沢市セレスにて西川ガバナーをお迎えして新所沢ロータリークラブへの公式訪問が行われました。午後四時半より西川ガバナー、磯田ガバナー補佐、会長幹事を囲み、懇談会が行われました。五時半より例会が点鐘され、「友情の握手」で例会が始まりました。

西川ガバナーより「利他の心」の卓話を頂きました。記念撮影をし、クラブ協議会を開始。四大奉仕委員長に続きロータリー財団、米山奨学会を発表し、ガバナーから総評と高い評価を頂き七時半より懇親会に移りました。和やかに歓談し閉会しました。西川ガバナー、磯田ガバナー補佐ご苦労様でした。

狭山ロータリークラブ

会長　田島　貴
幹事　大澤　譲司

9月17日晴天の中、11時に西川ガバナー、国分地区副幹事を迎え、1時間ほど入会3年未満の会員3名と会員増強・社会奉仕、I serve とは、We serve との違いとはなど、なかなか中身の濃い話をし、非常に難しい問題ながら熱心に意見交換ができたと思います。

12時30分より通常例会に入り、西川ガバナーの卓話と進行し、“人は自分の意見ばかり言ってはいけない。相手の気持ちになって考えなければいけない”、“人生の中で自分が家業継承者である場合、自分はマラソンランナーではなく駅伝ランナーで、親から子への一通過点にすぎない、という気持ちで接していく”等、貴重なお話を拝聴できました。

そして13時45分よりクラブ協議会に移り、会長の司会の下、管理運営委員会の田中滋晃委員長、広報委員会の露木博夫委員長、会員増強・維持委員会の佐藤信男委員長、奉仕プロジェクト委員会の高鳥修委員長の順に年度計画を発表し、磯田ガバナー補佐の講評に続き、西川ガバナーの総評を頂き、予定通りガバナー公式訪問を終了致しました。

越生毛呂ロータリークラブ

会長　金井　正
幹事　齋藤　勝江

9月21日西川ガバナー、金子圭介ガバナー補佐、そして大野栄治地区幹事をお迎えし公式訪問が開催されました。

ガバナーより「ロータリーの心」の原点へとの題で卓話を頂きました。現代社会は人の心の豊かさを見失い人と人との絆の薄い殺伐とした社会になっています、こんな時こそロータリーの心が大切になってきたのです。との心の大切さを強調され各委員会の方針等にも貴重なアドバイスを頂きました。

その後懇親会では「山富貴」の料理に感心なさり皆の意見に最後までゆっくりなさっていかれました。

所沢中央ロータリークラブ

会長　越阪部　洋
幹事　大舘　廣

9月27日（月）、西川ガバナーが所沢中央RCを公式訪問されました。越阪部洋会長による開会点鐘の後、同行された磯田力彦ガバナー補佐、飯田富夫副幹事を交えて恒例の握手タイムとなり、一気に打ち解けた和やかな雰囲気となりました。

西川ガバナーからは、「相手の立場で考える」、「こちらが変われば相手も変わる」、「人生は駅伝」、「後世に徳を残す」等々、貴重な体験を基にした卓話をご披露頂きました。

続いてクラブ協議会となり、当クラブの活動の中で「入会年度の浅い会員の積極的な登用」、「所沢市民フェスティバルへの模擬店出店による親睦と収益の社会奉仕」、「足尾銅山への植樹支援」等に対し高い評価を頂きました。

また、平成24年2月の創立20周年記念事業に向け準備委員会を発足し、会員数40名達成の目標に対して、大いに期待するとの力強い激励の言葉を頂き、会員一同あらためて意を強く致しました。

行田さくらロータリークラブ

会長　橋本　恭一
幹事　半田　太

9月28日（火）に行田さくらロータリークラブにおいて西川ガバナーによる公式訪問が行われました。午前10時45分から西川ガバナー、澤田ガバナー補佐を囲み会長、幹事、清水会員、入会3年未満の会員（５名）による懇談会が行なわれクラブの現状および意見交換が行われました。

昼食後、西川ガバナーによる講話を頂きました。「利他の心で行動しよう」という今年度のガバナー方針の説明をご自分の幼少期の体験談を交えて、詳細にそして熱く語って頂きました。

クラブ協議会では、各委員長が今年度の活動方針を発表し緊張した雰囲気の中でもスムーズな進行ができました。ガバナーからは各委員会への貴重なアドバイスを頂き、併せて高い評価も頂きました。ガバナー公式訪問は当クラブにとって大変よい刺激になり、クラブ内の結束がより強固なものになった手ごたえを感じとることができました。

皆野・長瀞ロータリークラブ

会長　山川　明美
幹事　笠原　美江

西川ガバナー、高柳育行ガバナー補佐においで頂き、３年未満の小林さん、畝さん、引間さんの３人と会長、幹事との懇談会はなごやかな時間の中で、国際ロータリーの楽しいお話も交えて聞かせて頂き、１時間が本当に短く感じました。

ガバナーのお人柄に触れさせて頂き、力を頂けたように感じました。ガバナーの卓話では、相手の立場になって考え、助け合う事が大切、人間として命の尊さ、命のリレーをつなぐのは、ロータリーの心だと学びました。ロータリーの友情を大事にし、今を大事にし、人種を越えて世界をより良いものに変えていこう、ロータリーの心で！　大きく学ばせて頂きました。ガバナー公式訪問は緊張の中で楽しく終えることができました。感謝致します。ありがとうございました。

加須ロータリークラブ

会長　高橋　伊佐夫
幹事　山口　眞司

記録的な猛暑も終わりをつげ、心地よい秋の虫の音色が響きだした9月22日、加須ロータリークラブ公式訪問例会が開催されました。例会に先立ち、11時より西川ガバナー、澤田將信ガバナー補佐と会長、幹事、会長エレクト、更に入会3年未満の会員との懇談会が開催されました。この懇談会では、西川ガバナーの他人を思いやるお人柄と、澤田ガバナー補佐の気さくなお人柄が相まって、和やかな懇談会となりました。3年未満の会員からは西川ガバナーのような素晴らしい方と話すことができて、ロータリーに入会して本当に良かった等の感想が寄せられました。

12時半より例会に移り西川ガバナーより卓話を頂きました。この卓話の中で、奉仕とは何か、利他の心とは何かというロータリーの本質や物事の真理に係わる御示唆に富んだお話を頂き、会員一同感激しながら拝聴することができました。引き続き13時40分よりクラブ協議会が開催されました。各委員会の委員長より今年度の活動内容の発表が行われ、最後に西川ガバナー、澤田ガバナー補佐より今後も和気藹々としたクラブであり続けるようにとの、総評、講評を頂き、公式訪問の全日程を終了することができました。

お忙しい中、ガバナー公式訪問例会にお越し頂いた西川ガバナー、澤田ガバナー補佐には心からお礼申しあげご報告と致します。

新入会員のご紹介

（新座RC）

石原　勇介
㈱フローリスト石原
（紹介者）吉原　良一

（新座RC）

大西　克幸
㈱彩石
（紹介者）吉原　良一

（行田RC）

鈴木　克枝
㈱日商
（紹介者）小沢　瑛

（行田RC）

渡辺　久記
渡辺㈱
（紹介者）坂本　研一

（行田RC）

武笠　毅
㈲ムカサ
（紹介者）碓井　勝也

（和光RC）

加藤　洋子
㈱MD企画
（紹介者）鈴木　勲二、並木　孝喜

（坂戸RC）

柳澤　享
㈲柳澤
（紹介者）木藤　文雄

（熊谷RC）

有田　朋行
綜合警備保障㈱ 埼玉北支社
（紹介者）大澤　孝至、時田　芳文

（熊谷RC）

木島　重雄
税理士法人 武蔵経営
（紹介者）吉田　嘉高、前嶋　修身

表　彰

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

山田　晃
（行田RC）

小池　英輔
（行田RC）

吉田　武明
（飯能RC）

吉島　一良
（飯能RC）

島村　武房
（羽生RC）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

阿部　晋一郎
（富士見RC）

松本　仙太郎
（富士見RC）

ポール・ハリス・フェロー

尾崎　功
（富士見RC）

荒城　幸男
（富士見RC）

柳田　政男
（富士見RC）

米山功労者

9回

佐川　茂
（皆野長瀞RC）

8回

大澤　衞
（和光RC）

5回

矢澤　大和
（行田さくらRC）

5回

小林　一好
（行田RC）

4回

中田　洋
（鶴ヶ島RC）

3回

戸ヶ崎　直司
（行田さくらRC）

3回

磯田　力彦
（新所沢RC）

3回

徳間　寛子
（深谷RC）

2回

小池　英輔
（行田RC）

2回

塩野　芳雄
（富士見RC）

2回

深谷　雅良
（富士見RC）

2回

隈川　貴久男
（富士見RC）

2回

斎藤　重治
（富士見RC）

1回

橋本　恭一
（行田さくらRC）

1回

小菅　克祥
（行田RC）

1回

齋藤　恭一
（行田RC）

1回

横田　康介
（行田RC）

1回

横田　昌則
（富士見RC）

1回

金子　圭典
（鶴ヶ島RC）

出席率・会員数報告

	クラブ名	例会数	出席率（%） 当月	通算	会員数（人） 年初（7/1）	9月末現在	9月入会数	9月退会者	本年度入会数	本年度退会者	9月度純増数	本年度純増数	女性会員
第1グループ（11RC）	川越	4	84.5	83.1	85	86	0	0	1	0	0	1	0
	東松山	3	71.6	73.5	34	35	0	0	1	0	0	1	1
	小川	4	75.0	75.0	11	11	0	0	0	0	0	0	1
	坂戸	4	81.0	90.2	24	24	0	1	1	1	-1	0	0
	越生毛呂	4	82.7	78.2	27	27	0	0	0	0	0	0	1
	川越小江戸	4	88.6	94.6	17	17	0	0	0	0	0	0	0
	川越西	5	81.3	78.4	17	17	0	0	0	0	0	0	1
	鶴ヶ島	4	72.0	77.7	30	30	0	0	0	0	0	0	3
	川越中央	3	79.2	81.1	31	32	0	0	1	0	0	1	0
	坂戸さつき	3	69.8	73.9	21	22	0	0	2	1	0	1	5
	東松山むさし	4	92.5	85.3	34	35	0	0	1	0	0	1	3
	小計		79.8	81.0	331	336	0	1	7	2	-1	5	15
第2グループ（9RC）	朝霞	3	100.0	100.0	35	35	0	0	0	0	0	0	0
	ふじみ野	4	88.0	84.0	16	16	0	0	0	0	0	0	0
	志木	4	91.5	93.5	50	50	0	0	0	0	0	0	0
	富士見	4	88.2	85.2	45	42	0	0	0	3	0	-3	0
	新座	4	86.9	86.2	27	29	0	0	2	0	0	2	3
	和光	4	88.0	89.9	19	20	0	0	1	0	0	1	1
	朝霞キャロット	3	91.7	91.9	11	12	0	0	1	0	0	1	0
	志木柳瀬川	4	91.7	91.7	12	11	0	1	0	1	-1	-1	4
	新座こぶし	5	93.8	96.6	15	16	0	0	1	0	0	1	3
	小計		91.1	91.0	230	231	0	1	5	4	-1	1	11
第3グループ（12RC）	入間	4	82.7	83.9	45	46	0	0	1	0	0	1	1
	所沢	4	79.7	79.9	60	59	0	0	0	1	0	-1	4
	飯能	4	95.2	93.2	58	58	0	0	0	0	0	0	0
	狭山	4	100.0	100.0	22	22	0	0	0	0	0	0	1
	新所沢	3	88.6	84.3	28	28	0	0	0	0	0	0	1
	日高	4	77.2	79.7	23	28	0	0	5	0	0	5	4
	所沢西	4	94.9	94.8	43	44	0	0	1	0	0	1	1
	新狭山	3	91.8	92.2	26	26	0	0	0	0	0	0	0
	所沢東	3	87.3	84.9	38	39	0	0	1	0	0	1	3
	入間南	4	91.3	88.0	35	35	0	0	0	0	0	0	0
	所沢中央	3	84.6	88.6	37	37	0	0	0	0	0	0	0
	狭山中央	4	75.3	80.8	32	32	0	0	0	0	0	0	5
	小計		87.4	87.5	447	454	0	0	8	1	0	7	20
第4グループ（12RC）	深谷	4	64.2	73.2	58	58	0	0	0	0	0	0	8
	本庄	4	83.8	85.7	67	67	0	0	0	0	0	0	7
	秩父	4	71.4	76.9	52	52	0	0	0	0	0	0	0
	寄居	4	87.4	88.1	35	36	1	0	1	0	1	1	1
	児玉	4	79.0	76.3	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	岡部	3	86.6	84.8	18	18	0	0	0	0	0	0	2
	深谷東	4	69.8	69.5	64	71	0	0	7	0	0	7	0
	上里	3	95.8	88.9	8	8	0	0	0	0	0	0	0
	川本	3	89.0	91.0	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀞	4	84.7	88.3	17	18	0	0	1	0	0	1	3
	本庄南	3	90.0	86.9	20	20	0	0	0	0	0	0	0
	深谷ノース	3	63.0	69.8	36	35	0	0	0	1	0	-1	0
	小計		80.4	81.6	399	407	1	0	9	1	1	8	21
第5グループ（10RC）	熊谷	4	70.2	78.5	89	91	1	1	4	2	0	2	3
	行田	4	82.3	80.6	54	57	1	0	4	1	1	3	2
	羽生	4	70.4	76.9	36	37	1	0	1	0	1	1	2
	加須	4	76.2	81.3	37	38	0	0	1	0	0	1	1
	熊谷西	3	90.7	86.1	21	21	0	0	0	0	0	0	1
	行田さくら	4	81.1	80.8	39	39	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷東	5	92.1	92.8	33	33	0	0	0	0	0	0	2
	吹上	4	91.6	93.0	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷籠原	4	88.9	88.2	27	27	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷南	4	74.1	73.8	28	28	0	0	0	0	0	0	1
	小計		81.8	83.2	376	383	3	1	10	3	2	7	12
54RC	クラブ会員数		83.9	84.7	1783	1811	4	3	39	11	1	28	
	女性会員数				77	79	0	1	3	1	-1	2	

11・12月のスケジュール

11月

2	火	公式訪問（狭山中央）
7	日	第２回米山奨学部門セミナー
9	火	公式訪問（川本）
10	水	公式訪問（熊谷籠原）
11	木	公式訪問（所沢東）
14	日	第２グループＩＭ
16	火	公式訪問（入間南）
20	土	第１グループＩＭ
		ＧＳＥオリエンテーション
		ブライダル相談会
21	日	ライラデー
24	水	財団地域セミナー
25	木	全国ガバナー会
26	金	ロータリー研究会
27	土	〃

12月

1	水	公式訪問（志木）
4	土	Ｒ財団奨学生第２回オリエンテーション
11	土	青少年交換クリスマスオリエンテーション
12	日	米山クリスマス会
18	土	ＧＳＥオリエンテーション
		第３回諮問委員会
19	日	ブライダル相談会

編集部から

先月の第４号月信１２頁、新狭山ロータリークラブ公式訪問記事で、会長及び幹事のお名前を誤りました。深くお詫びいたします。会長は村田昇氏であり、幹事は西澤長次氏です。関係各位には、大変ご迷惑をおかけしました。再発防止に努めますので、どうぞご寛容をお願い申し上げます。

財団月間です。ガバナーメッセージにあるように、寄付行為はなかなか複雑な感情が交錯します。この機会に財団部門をよく理解したいと思っています。それが、奉仕できる喜びへとつながるのではないでしょうか。

訃　報

秋元　清吉様
（富士見RC）

2010年8月24日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

享年85歳
ロータリー歴
1974年10月入会（在籍35年）

鎌倉街道が繋ぐ2570地区の「和」

第5回 毛呂山・鳩山

鶴ヶ島市の西端部を通り、坂戸市の高麗川を渡り毛呂山町東側へと入ります。この毛呂山町は県内でもとても鎌倉街道の風情が良く残されているところです。越辺川を渡った今宿の八坂神社辺りから、鳩山町役場の脇を通り、笛吹峠へと至ります。ところで、ご愛読いただいている会員から、「児玉党」のことを伺いました。シリーズに関心をお持ち下さり誠にありがとうございます。本シリーズ後半でご紹介したいと思います。

高麗川に架かる森戸橋を渡り、坂戸市との市境、市場神社付近になるとここは毛呂山町で、民家の裏にひっそりと遺構があります①。

高麗川と越辺川の間の鎌倉街道遺構は、「掘割状遺構」としてとてもよく残されています。雑草が生い茂る前の、天気の良い日にはハイキングがてら歩いてみると良いかもしれません②③。

とりわけ県道39号線から越辺川に至る道筋はよく整備され、案内も設置されていて、往時をしのばせます④⑤⑥。

越辺川を横断するとそこは鳩山町ですが、鎌倉街道がどの辺で横断したのかは定かではありません。この辺の越辺川は大きく蛇行しており、川の氾濫で大きく変化したであろうことが想像できます。

今宿交差点の南東にある圓正寺⑦というお寺には、鎌倉時代末期の年号が彫られた板碑⑧があり、いかにも鎌倉街道沿いを想像させます。また、赤沼にある供養塔⑨は街道の道標でもあったようです。交差点の北側の小高い山には展望台があり、今通ってきた鎌倉街道方面の町並みが一望できます。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

掘割状遺構
平地では路面の両側に土手を築き、山間部では路面を掘り込んだ形状をもつ歴史的街道跡。

板碑（いたび）
死者の供養のために建てた平たい石の卒塔婆（そとば）。仏像や梵字（ぼんじ）、年月日、名前などが彫られている。

ガバナー月信　第5号
2010年11月1日発行
今月の表紙：R財団部門委員長
小池　貞作（寄居）

国際ロータリー第2570地区　2010−2011年度ガバナー　西川　武重郎
ガバナー事務所
〒353-0004　埼玉県志木市本町5丁目20番12号 サンシャイン志木1F
TEL（048）485−3883　E-mail＝info2010@mail.rid2570.gr.jp
FAX（048）485−3855　Website＝http://www.rid2570.gr.jp/2010/